

施策 1

生きがいをもち、地域の担い手となるための
健康・生きがいづくりの推進

第 9 期八戸市高齢者福祉計画

実施状況

令和 8 年 3 月末現在

I 成果指標

成果指標	現状値	実績値		目標値	
	令和 4 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 8 年度
健康状態が良い高齢者の割合※	79.0%	—	78.5%	—	80.0%
生きがいのある高齢者の割合※	55.3%	—	46.1%	—	56.0%
要介護認定を受けていない 高齢者の割合	84.3%	83.8 %	83.5%	%	84.3%

※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の評価項目（計画策定の前年度に実施）

II 実施結果

登録事務事業数 24 事業
・実施済 24 事業
・未実施 0 事業

- 1 健康づくりの推進（10 事業）
 健康フェスタの開催や健康づくり団体等との連携、研修会開催のほか、各種検診の実施、受診の推奨を行い、健康づくりに対する支援、意識啓発を図った。
- 2 自立支援、介護予防・重度化防止の推進（6 事業）
 介護予防センターにおける介護予防の相談対応や介護予防教室等の実施のほか、介護予防・日常生活支援総合事業における新たなサービスの提供により、高齢者の介護予防及び重度化防止を推進した。
- 3 生きがいづくりの推進・社会参加の促進（8 事業）
 鷗盟大学の運営による学習機会の提供やシニアはつらつポイント事業による社会活動への参加促進により、高齢者の生きがいづくりを支援した。

1 健康づくりの推進

事業名	健康意識啓発事業
担当課	健康づくり推進課
概要	○わが家の健康カレンダーを作成し、配布する。 ○広報はちのへにより、健康教室・健康相談を周知する。 ○ホームページを利用して情報を発信する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○市で行っている健康に関する事業等を掲載した「わが家の健康カレンダー」を全世帯に配布した。(配布件数 96,817 件) ○市で行っている健康に関する事業等について、広報はちのへやホームページを活用しタイムリーに周知した。 【成果】 ○健康に関する事業等の情報を様々な媒体に掲載したことにより、市民に周知を図ることができた。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調(改善の余地あり) □順調でない(改善が必要) 【理由】「健康カレンダーを見て電話した」「広報やホームページを見て電話した」等の市民の声があり、周知手段として効果がある。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	健康づくり団体等活動支援事業
担当課	健康づくり推進課
概要	○食生活改善推進員養成研修会を開催する。 ○食生活改善推進員協議会と連携して、健康づくりを行う。 ○地域の健康づくりのリーダーである保健推進員を育成する。 ○保健推進員と連携した健康づくりを行う。 ○健康づくり推進協議会などの地域団体と連携して事業を行う。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○食生活改善推進員会員数 141 名 ○食生活改善推進員協議会への支援 16 回 338 人 ○保健推進員数 599 人 ○保健推進員中央研修会開催 1 回 211 人 ○保健推進員地区研修会開催 19 地区、延 718 人 ○八戸の健康まもり隊ワーキング開催 4 回、延 80 人 【成果】 ○食生活改善推進員養成研修会を全 5 回実施、4 名が修了した。また、食生活改善推進員協議会役員会や理事会などで、会の活動が継続できるよう支援した。 ○保健推進員中央研修会を 1 回、各地区で計画されている研修会を 40 回実施した他、八戸の健康まもり隊ワーキングを 4 回実施した。また、保健推進員活動や健康づくり推進協議会などで健康づくり事業が継続できるよう支援した。
自己点検結果	□順調に進んでいる ■概ね順調(改善の余地あり) □順調でない(改善が必要) 【理由】予定通り実施することができたが、食生活改善推進員の会員数は年々減少傾向にあり、保健推進員は高齢化等により成り手が不足し、推進員により活動の取り組みに差がある現状にあるため。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 概ね順調に進んでいるが、保健推進員の設置人数を見直し、経過をみているところであるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	健康フェスタ開催事業
担当課	健康づくり推進課
概要	○健康に関する講演会、健康展、健康相談等を行う。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○「八戸市健康フェスタ」開催 【開催日】 令和7年9月28日(日) 【会場】 八戸市総合保健センター 【来場者数】353人 健康に関するパネル展示や健康相談・体験ブースの出展、健康測定会等の他、八戸市医師会及び八戸市立市民病院の医師による健康に関する講演会を開催。 【成果】 ○来場者アンケートでは『非常に満足』と『満足』の割合が77%を占め、自由記述でも「健康イベントをもっと増やしてほしい」「参考になった、有意義だった」「他にこういう情報も知りたい」等好感度・関心の高い意見が多く見られ、市民の健康づくりに対する意識啓発が図られた。
自己点検結果	☐ 順調に進んでいる ☐ 概ね順調（改善の余地あり） ☒ 順調でない（改善が必要） 【理由】来場者数が大きく減少した
今後の方向性	☐ 継続 ☐ 拡大 ☒ 縮小 ☐ 廃止 来場者数は減少しているが、来場者アンケートおよび出展団体からは事業の継続を希望する意見が多い。

事業名	がん検診事業
担当課	健康づくり推進課
概要	○胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がんのがん検診を行う。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○受診者数（令和8年3月末時点） ・胃がん検診 11,647人 ・肺がん検診 15,522人 ・大腸がん検診 16,704人 ・乳がん検診 6,505人 ・子宮頸がん検診 4,972人 【成果】 ○国の指針に従い、がんによる死亡率の減少が証明されている5つのがん検診を実施し、病気の早期発見・治療につなげている。 ※令和7年度から前立腺がん検診と乳腺超音波検診は実施しない。
自己点検結果	☐ 順調に進んでいる ☒ 概ね順調（改善の余地あり） ☐ 順調でない（改善が必要） 【理由】受診者数は若干減少しているものの、同程度の実施ができています。国の指針に基づいた検診実施を進める必要がある。
今後の方向性	☒ 継続 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止 概ね順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	がん検診推進補助事業
担当課	健康づくり推進課
概要	○がん検診の受診率向上のため、検診無料クーポン券・検診手帳を配付するとともに、未受診者に対して受診を勧奨する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○子宮頸がん検診の自己負担（1,000円）が無料となるクーポン券を発送した。740人配付、うち補助人数50人（6.8%） ○乳がん検診の自己負担（1,000円）が無料となるクーポン券を発送した。1,248人配付、うち補助人数327人（26.2%） 【成果】 ○無料クーポン券の送付により、子宮頸がん・乳がん併せて計377人の検診受診につながった。（令和8年3月末現在）
自己点検結果	☐ 順調に進んでいる ☒ 概ね順調（改善の余地あり） ☐ 順調でない（改善が必要） 【理由】受診率は昨年度と比較して低下しているが、受診者のほとんどはクーポン券使用者であるため受診率向上には効果があると考えられる。
今後の方向性	☒ 継続 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止 概ね順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	歯周病検診事業
担当課	健康づくり推進課
概要	○20・30・40・50・60・70歳の節目に、歯周病検診を行う。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○4月 歯周病検診受診券を送付 15,190件 ○11月 歯周病検診未受診者に対し、はがきで個別受診勧奨実施 13,985件 ○受診者数 2,096人 受診率13.8%（R8.3月末現在） 【成果】 ○受診券を送付することで受診勧奨を実施し、更に一定期間を置いて未受診者に対し再勧奨することで、受診率向上につながった。
自己点検結果	☐ 順調に進んでいる ☒ 概ね順調（改善の余地あり） ☐ 順調でない（改善が必要） 【理由】受診率は昨年度と比較して低下しているが、再勧奨後の受診者が891人おり、勧奨による受診率向上効果が見られる。
今後の方向性	☒ 継続 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止 概ね順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	後期高齢者健診事業
担当課	国保年金課
概要	○健康診査を行う。 ○「広報はちのへ」や「わが家の健康カレンダー」へ健診内容を掲載する。 ○受診率向上のため、未受診者への受診勧奨を行う。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○受診者数 6,884人 ○受診率 19.09% 【成果】 ○生活習慣病等の重症化予防及び健康づくりの意識啓発に寄与した。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】 通年で受診希望者に健診を実施することができた
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、前年度と同様に実施予定

事業名	後期高齢者歯科口腔健康診査事業
担当課	国保年金課
概要	○歯科口腔健康診査を行う。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○受診者数 534人 ○受診率 1.45% 【成果】 ○口腔機能低下の予防及び健康づくりの意識啓発に寄与した。
自己点検結果	□順調に進んでいる ■概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】 関係各所と調整を図り、受診希望者へ滞りなく健診を実施できた
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 前年度と同様に実施し、対象者の目に付きやすく分かり良い周知となるよう工夫する予定

事業名	後期高齢者人間ドック事業
担当課	国保年金課
概要	○人間ドックを行う。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○受診者数 4,420人 ○受診率 12.25% 【成果】 ○受診者数・受診率ともに年々増加しており、生活習慣病等の重症化予防及び健康づくりの意識啓発に寄与した。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】 通年で受診希望者に健診を実施することができた
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、前年度と同様に実施予定

事業名	はり・きゅう・あんまマッサージ施術費助成事業
担当課	高齢福祉課
概要	○はり・きゅう・あんまマッサージ施術費の一部を助成する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○70歳以上の高齢者、身体障害者手帳（1級から4級まで）及び愛護手帳の交付を受けている65歳以上の心身障害者に対し、はり・きゅう・あんまマッサージ施術助成券を交付した。 ・交付枚数 3,105枚 交付人数 345人 ・使用枚数 1,742枚 使用人数 244人 【成果】 ○高齢者の心身機能向上と健康増進が図られた。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】 概ね全ての申請者に対して助成できたため。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

2 自立支援、介護予防・重度化防止の推進

事業名	介護予防センター運営事業
担当課	高齢福祉課
概要	○専門職を配置し、介護予防のための相談対応や普及啓発を行い、高齢者自らが介護予防に取り組めるよう支援する。 ○閉じこもり予防やフレイル予防のため、体操会や集いの場を開催し社会参加につなげる。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○介護予防センター運営事業の周知 ・「広報はちのへ」 ・市内各所へチラシの設置 ・デジタルサイネージ ○介護予防（フレイル予防）事業の実施 ・体操会 7,982人 ・集いの場 6,153人 ・元気高齢者のための介護予防カウンセリング（介護予防相談） 53人 ・シニアいきいき教室（介護予防教室） 194人 ・思い出回想法 51人 ○認知症支援事業の実施 ・「認知症の人を抱える家族のつどい」への協力 84人 ・認知症カフェ 91人 ○家族介護支援事業の実施 ・家族介護教室 47人 ・認知症フォーラム（委託） 284人 【成果】 ○元気なうちから介護予防に取り組む高齢者や、社会参加につながる高齢者が増加した。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】事業利用者が大幅に増加し、利用者アンケート結果より、約90%の方が身体機能及び交流意欲の維持・向上を感じられたと回答しているため。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	地域リハビリテーション活動支援事業
担当課	高齢福祉課
概要	○リハビリテーション専門職が、高齢者の有する能力を評価し改善の可能性を助言すること等により、介護予防の取組を総合的に支援する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○介護予防センターにおける理学療法士業務は、公益財団法人シルバーリハビリテーション協会へ委託した。 ・体操会 350回、7,982人 ・集いの場 261回、5,442人 ・元気高齢者のための介護予防カウンセリング（介護予防相談）運動・体力 10人 ・シニアいきいき教室（介護予防教室） 2回、33人 ・介護予防アセスメント支援事業 1件、1人 ・出前講座 1回 10人 ・理学療法士ポップアップコーナーの設置 ・カラダいきいき手帳の作成 【成果】 ○介護予防や在宅介護に関する知識の普及、及び利用者のニーズに合わせた相談・指導を行い、住み慣れた地域での自立した日常生活の継続につながった。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】事業利用者が大幅に増加し、利用者アンケート結果より、約90%の方が身体機能の維持・向上を感じられたと回答しているため。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	リハビリテーションサービスの推進
担当課	介護保険課
概要	○集団指導等を通じて、介護支援専門員へリハビリテーション（特に軽度者）を推進するよう周知する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○軽度者の自立支援、重度化防止を推進するとともに、介護支援専門員の資質向上を図るため研修会を開催した。 ・日時：令和8年1月29日（木）14:00～16:00 ・場所：八戸市福祉公民館 大会議室 ・講師：市内介護事業所（3事業所） ・テーマ：事業所における自立支援、重度化防止の取組について ・参加人数：76名 【成果】 ○市内通所介護事業所等のサービスの特色とその効果について、事例を交えた説明を事業所職員が行ったことで、最新の情報を共有が図られ、介護支援専門員等の資質向上が図られた。また、サービス提供事業所においても自事業所のサービスと比較することができ、サービス見直しの機会となった。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】前年度と比較し参加人数が増加したため
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定

事業名	介護予防普及啓発事業
担当課	高齢福祉課
概要	○パンフレット等の作成・配布、有識者等による講演会や相談会、運動・栄養・口腔等に係る介護予防教室等を開催する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○介護予防センターにおいて、シニアいきいき教室（介護予防教室）、集いの場、元気高齢者のための介護予防カウンセリング（介護予防相談）を実施した。 ・シニアいきいき教室（介護予防教室）12回、194人 ・集いの場（専門職によるミニ講話、脳トレ等）300回、6,153人 ・元気高齢者のための介護予防カウンセリング（介護予防相談） 運動・体力に関する相談 10人、認知症予防に関する相談 7人 食生活に関する相談 7人、介護予防に関する相談 29人 【成果】 ○介護予防に関する知識を提供することで、介護予防の促進が図られた。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】 介護予防教室や介護予防相談の実績は前年度と同程度であり、集いの場に関しては前年度実績を大きく上回る利用者数であった。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	介護予防・日常生活支援総合事業
担当課	高齢福祉課
概要	○地域の高齢者を対象に、状態や必要性に合わせた様々なサービスを提供する。 ○地域の実情を踏まえ、要支援者等の多様なニーズに対応した介護予防サービスを提供する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○介護予防訪問介護相当サービス 4,621件 ○訪問型サービスA 62件 ○訪問型サービスC 0件 ○介護予防通所介護相当サービス 13,931件 ○通所型サービスA 156件 ○通所型サービスC 97件 内訳 ・運動・認知複合型プログラム 97件 ・口腔機能向上 0件 ○訪問支援員養成研修（令和7年10月24日：参加者15人、令和8年2月20日 参加者13人） 【成果】 ○利用者の心身や置かれている状況に応じて、訪問型及び通所型サービスを提供し、利用者本人の自立支援、重症化防止及びその家族の介護負担の軽減を図ることができた。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】 事業全体の利用は増加傾向であり、高齢者が要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止につながった。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 ・近年実績のなかった訪問型サービスCと通所型サービスC（口腔機能向上事業）について令和7年度で廃止とした。 ・事業全体の利用は増加傾向であることから「継続」とした。

事業名	介護予防ケアマネジメント事業
担当課	高齢福祉課
概要	○高齢者のうち要介護状態となるおそれの高い人に対し、心身の状況把握や要因分析などを行い、予防のための計画を作成する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○市地域包括支援センター及び高齢者支援センターにおいて、要支援者及び介護予防・日常生活支援総合事業の事業対象者に対し介護予防プランを作成した。 ・従来相当サービス、訪問型サービスA及び通所型サービスC分 12,694件・住所地特例分 143件 ○市地域包括支援センターにおいては、介護予防プランと実際に提供されたサービス内容を突合し、毎月、青森県国民健康保険団体連合会に給付管理票を提出した。 【成果】 ○利用者の心身や置かれている状況に応じて、介護予防プランを作成し、利用者本人の自立支援、重症化防止及びその家族の介護負担の軽減を図ることができた。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】滞りなく対応し、必要なサービスへ繋げている。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

3 生きがいのづくりの推進・社会参加の促進

事業名	ほっとサロン、三世代交流事業
担当課	高齢福祉課
概要	○高齢者の閉じこもりや孤独感の解消と、介護予防のためのほっとサロンを開催する。 ○高齢者の社会参加を促進するため、子どもと地域の高齢者との交流を図る。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○ほっとサロン事業 71 サロンで 858 回開催、16,629 人参加 ○サロンリーダー研修会 3 回開催 ○三世代交流事業 23 回開催 ○ニュースポーツ講座及びシニアいきいき講座 15 回開催 【成果】 ○高齢者の社会的孤立感が解消され、自立生活の助長につながった。 ○高齢者の社会参加の促進が図られた。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】事業計画どおりに実施できたため。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も実施予定

事業名	老人いこいの家等運営事業
担当課	高齢福祉課
概要	○高齢者の健康づくりや仲間づくりのための集会施設を設置・運営する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○令和7年度施設利用者総数 39,640 人 ・老人いこいの家臥牛荘 12,430 人 ・老人いこいの家諏訪荘 6,036 人 ・老人いこいの家青山荘 1,210 人 ・老人いこいの家うみねこ荘 5,268 人 ・老人いこいの家海浜荘 4,276 人 ・老人福祉センター馬淵荘 8,725 人 ・老人福祉センター南郷 1,695 人 【成果】 ○レクリエーションや趣味・教養活動の場の提供による心身の健康増進につながった。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】利用者も昨年度より増えており、滞りなく施設の運営が出来ている。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	老人クラブ活動支援事業
担当課	高齢福祉課
概要	○市内約 130 クラブに対して活動を支援するため、運営費の一部を補助する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○老人クラブ補助金（交付決定：121 クラブ） 単位老人クラブが行う社会奉仕活動、老人教養講座、健康増進事業の経費の一部を補助（1 クラブ年額 46,560 円上限）。 ○老人クラブ連合会補助金 八戸市老人クラブ連合会が行う運営事業費、特別事業費、健康づくり事業費、活動支援体制強化事業費の一部を補助。 ○社会奉仕活動等促進業務（委託業務） 老人クラブが行う社会奉仕活動の促進、老人クラブの加入促進及び活性化に係る業務等を八戸市老人クラブ連合会に委託。 【成果】 ○高齢者の社会参加促進及び高齢者福祉の向上につながった。 ○地域貢献及び介護予防（生きがいづくり・仲間づくり）の促進が図られた。
自己点検結果	□順調に進んでいる ■概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】 ○高齢者の社会参加促進及び高齢者福祉の向上、地域貢献及び介護予防の促進は図られたが、クラブ数及び会員数の減少が課題としてあるため。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 概ね順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	シニアはつらつポイント事業
担当課	高齢福祉課
概要	○高齢者が介護施設などで行ったボランティア活動に対して、商品券との交換や福祉団体への寄附ができるポイントを付与する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○令和7年 5月 新規研修会実施 7人参加 ○令和7年 9月 新規研修会実施 11人参加 ○令和7年 12月 スキルアップ講習会実施 20人参加 ○令和8年 1月 新規研修会実施 10人参加 ○令和8年 3月 スキルアップ講習会実施 10人参加 ○会員登録者数 155人 ○活動実人数 38人 【成果】 ○高齢者の社会参加、地域貢献及び介護予防の促進が図られた。
自己点検結果	□順調に進んでいる ■概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】会員登録者数は着実に推移しているものの、活動実人数は少数にとどまっており、参加率の向上が課題である。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 広く周知を行いつつ、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	ボランティアセンター運営支援
担当課	福祉政策課
概要	○八戸市社会福祉協議会が実施しているボランティア活動に関する相談、情報提供、講座等の開催、ボランティア関係団体等との連絡調整に対して、助言等の支援を行う。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○ボランティア相談窓口の設置 登録数 69 団体、個人 53 人 ○ボランティア活動メニュー発行 通年 50 件・短期 20 件 ○ボランティア派遣数 21 件 34 人 ○ボランティア活動の情報発信（ホームページ随時更新、広報紙発行 1 回） ○ボランティア推進校事業 13 校 ○出前講座（車椅子体験・高齢者疑似体験・アイマスク・点字体験 ※重複あり） 車椅子体験 2 件 高齢者疑似体験 4 件 アイマスク・点字体験 1 件 ○各種講座の開催 ボランティア講座、ボランティア体験講座（視覚障がいを知ろう）、福祉体験学習サポーター養成講座、知的障がい者体験講座 ボランティア講座 1 回（18 人参加） ボランティア体験講座 1 回（11 人参加） 福祉体験学習サポーター養成講座 1 回（24 人参加） 知的障がい者体験講座 1 回（10 人参加） ○ボランティア・市民活動フェスティバルの開催 参加団体 30 団体 120 人・事務局 20 人・来場者 2,200 人 ○「災害ボランティアネットワーク八戸」連絡会 2 回 ○ボランティアセンター運営委員会 2 回 ○青森県東方沖地震に伴う災害ボランティアセンターの設置・運営 対応件数:65 件・ボランティア延べ活動人数:145 人 【成果】 ○各種講座のアンケートでは、参加者の 9 割以上が「満足」「おおむね満足」と回答しており、ボランティアへの興味・関心の向上につながったものと考えられる。自由記述では、「障がいのある人が困っていたら手助けしたい」「災害時に自分ができることを考えたい」といった前向きな意見が多く寄せられた。 ○ボランティア・市民活動フェスティバルでは、来場者から「初めて知るボランティア活動や団体があり、楽しかった」、参加団体からは「来場者や参加団体同士で交流することができ、有意義な時間だった」といった肯定的な意見が多く寄せられた。また、参加団体へのアンケートでは団体の 9 割以上が「次回も参加したい」と回答しており、福祉意識の啓発や団体同士のネットワーク構築を図ることができた。 ○災害ボランティアセンターの運営においては、市内の全民生委員にニーズ調査用チラシを配布し、民生委員を通じて独居高齢者を中心に周知を行った。また、県外から支援に駆け付けた 2 つの災害ボランティア専門団体と、県内の 4 つのボランティア団体、行政機関と連携し、主に災害ごみの運搬・搬出や住宅の応急修理支援を実施した。

自己点検 結 果	☒ 順調に進んでいる ☐ 概ね順調（改善の余地あり） ☐ 順調でない（改善が必要） 【理由】 予定通り実施し、アンケート結果も良好だった。また、臨時で開設した災害ボランティアセンターについても、円滑な設置・運営を行うことができた。
今後の方向性	☒ 継続 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事 業 名	鷗盟大学運営事業
担 当 課	高齢福祉課
概 要	○満 60 歳以上の市民が入学できる2年制の大学を運営し、一般教養科目のほか、「生活福祉科」「園芸科」それぞれの課程に沿った専門科目を学習する機会を提供する。
令和7年度 実 施 結 果	【取組内容】 ○一般教養科目及び専門科目（生活福祉科・園芸科）の学習機会を提供 ○学生数（1 学年定員 80 人、2 学年定員 80 人） ※令和7年度から要綱を改正し、定員を 80 人（生活福祉科 60 人、園芸科 20 人）として募集。 ・1 学年 80 人（生活福祉科 58 人、園芸科 22 人） ・2 学年 74 人（生活福祉科 57 人、園芸科 17 人） ○総合美術展（令和7年11月29～30日開催） ○クラブ活動やボランティア活動を自主的に実施 【成果】 ○学習機会の提供による生きがいづくりと社会参加の促進が図られた。 ○高齢者の安全に配慮した大学運営を行うことができた。
自己点検 結 果	☒ 順調に進んでいる ☐ 概ね順調（改善の余地あり） ☐ 順調でない（改善が必要） 【理由】 学生は卒業後もボランティア活動や地域活動などを行っており、高齢者の生きがいづくり、社会参加の促進につながっている。
今後の方向性	☒ 継続 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事 業 名	シルバー人材センター育成・援助事業
担 当 課	産業労政課
概 要	○高齢者の地域における就労や社会参加を促進するシルバー人材センターへの運営支援を行う。
令和7年度 実 施 結 果	【取組内容】 ○シルバー人材センター育成・援助事業 八戸市シルバー人材センター補助金 13,700 千円 【成果】 ○八戸市シルバー人材センターの事業運営への補助により、臨時的かつ短期的な就業等を通じて、自らの生きがいの充実や社会参加を希望する高齢者の就業機会の増大と福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに寄与することができた。 ○就業延人員 114,598 人
自己点検 結 果	☒ 順調に進んでいる ☐ 概ね順調（改善の余地あり） ☐ 順調でない（改善が必要） 【理由】 予定どおり事業を実施し、就業延人員が昨年度よりも上昇した。
今後の方向性	☒ 継続 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	高齢者バス特別乗車証交付事業
担当課	高齢福祉課
概要	○70 歳以上の高齢者を対象に、1 年間利用可能なバス特別乗車証を交付する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○70 歳以上の高齢者に対し、市交通部(市営バス)・岩手県北自動車株式会社(南部バス)の市内乗合バス運行路線に乗車できる特別乗車証を交付した。 ・交付者数 13,124 人 ○十和田観光電鉄株式会社の運行路線を 1 キロメートル以上利用しなければ利用可能区間に接続できない地域の対象者には、同社の交通ポイント付与済み交通系 I C カードも交付した。 ・交付者数 6 人 ○年度内に 70 歳を迎える高齢者や通用期間が満了となる対象者に対し、勧奨通知と申請書を送付した。 【成果】 ○外出支援による生きがいづくりや社会参加の促進が図られた。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調(改善の余地あり) □順調でない(改善が必要) 【理由】 予定通り実施し、交付者数は概ね例年通りであった。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

施策2

住み慣れた地域で安心して生活していくための
地域包括ケアシステムの深化・推進

I 成果指標

成果指標	現状値	実績値			目標値
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
地域包括支援センター(高齢者支援センター)の認知度※	30.1%	—	33.6%	—	32.5%
在宅医療介護 I C T ツール登録事業所数	290 事業所	322 事業所	333 事業所	事業所	307 事業所
認知症サポーター養成講座の受講者数(累計)	20,769 人	22,251 人	22,889 人	人	24,000 人

※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の評価項目(計画策定の前年度に実施)

II 実施結果

登録事務事業数	20 事業
・実施済	20 事業
・未実施	0 事業

1 包括的な支援体制の整備(2事業)

重層的支援体制整備として、関係課による庁内ワーキンググループ及び健康福祉審議会社会福祉専門分科会での検討審議により、包括的相談支援体制の整備に資する事業実施計画を策定した。

2 地域包括支援センターの体制充実(3事業)

12 の日常生活圏域に設置した高齢者支援センターの事業評価の実施や市地域包括支援センターによる高齢者支援センターへの後方支援等により、高齢者を支援する体制の充実を図った。

3 在宅医療・介護連携の推進(1事業)

医療・介護資源の情報提供、多職種による課題検討、ICT を活用した情報共有、相談支援、住民への普及啓発や研修を通じて、切れ目のない在宅医療・介護連携体制の推進を図った。

4 認知症施策の推進(5事業)

認知症サポーター養成講座や認知症フォーラムの開催により、認知症に対する正しい知識を普及啓発したほか、認知症に関わる医療・介護等の支援ネットワークの構築により、認知症の人やその家族等に対する支援を実施した。

- 5 生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進（1事業）
生活支援コーディネーターの配置や日常生活圏域ごとのワークショップの開催により、地域における支援体制の充実を図った。
- 6 地域ケア会議の推進（1事業）
高齢者の個別課題を医療と介護の専門職や地域の関係者間で共有・分析することにより、地域課題の解決に向けたネットワークが構築された。
- 7 高齢者の居住安定に係る施策との連携（7事業）
養護老人ホームへの入所措置や生活支援ハウスへの入居支援のほか、老人福祉施設等の運営や処遇が適正に行われるよう指導監査等を実施した。

1 包括的な支援体制の整備

事業名	重層的支援体制整備事業
担当課	関係各課
概要	○対象者の属性や世代を問わない包括的な「相談支援」、社会とのつながりを作る「参加支援」、地域からの孤立を防ぎ交流や活躍の機会を生み出す「地域づくりに向けた支援」を一体的に行う重層的支援体制整備事業の実施について検討する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○複雑化・複合化した課題への対応に向けて、多様な支援関係機関の相互理解や顔の見える関係づくりを推進するために多機関協働のための連携ネットワーク推進セミナーを開催した。 【成果】 ○セミナーを4回開催し、延べ146人参加
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】多機関協働のための連携ネットワーク推進セミナーを予定通り実施したため。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 令和8年度も多機関による連携を推進するための取組を行う。

事業名	障がい者相談支援事業
担当課	障がい福祉課
概要	○専門の相談員による情報提供や助言、福祉サービスの利用支援、権利擁護のための必要な援助を行う。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○3法人（こころすこやか財団「青明舎」、清照会「びあみなと」、杏林会「ハートステーション」）に委託し、障がい者等の相談に応じた。 R7年度相談等支援件数（3法人合計）10,619件 【成果】 ○障がい者、事業所の相談に応じ、障がい者が積極的にサービスを利用できるよう連携を強化することができた。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】相談等支援件数は減少したが、障害福祉サービスを利用した児童及び成人の合計人数が、令和6年度4,685人から令和7年度4,804人に増加した。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

2 地域包括支援センターの体制充実

事業名	地域包括支援センター運営事業
担当課	高齢福祉課
概要	○市内 12 圏域に高齢者支援センターを設置して、包括的支援及び介護予防支援を行う。 ○市は基幹型センターとして、高齢者支援センターを統括し、指導・助言等の後方支援を行う。 ○高齢者支援センターの適切、公正かつ中立な運営を図るため、八戸市地域包括支援センター運営協議会を開催する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○総合相談支援（一般・困難・虐待） 10,380 件 ○介護予防把握事業（実態把握） 4,181 件 ○介護予防普及啓発事業（介護予防教室） 453 回 ○地域介護予防活動支援事業（ボランティアの育成・活用） 293 回 ○見守りネットワーク支援 79 回 ○地域ケア会議個別会議 72 回、地域ケア会議圏域会議 20 回 ○委託型センターの事業評価の実施（7月） 【成果】 ○地域に根差した支援機関として、地域住民や関係者とのネットワーク構築の促進が図られた。 ○高齢者等からの相談に対応し、地域関係者や専門機関と連携して支援を展開することで、高齢者へのきめ細やかな支援の実施につながった。 ○センター運営に係る業務水準やサービス水準の向上が図られた。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】各事業を予定通り実施し、前年度を上回る実施結果となった。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業
担当課	高齢福祉課
概要	○高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることが出来るよう、地域における連携・協働の体制づくりを行うとともに、個々の介護支援専門員を支援する。 ○高齢者支援センター職員や、介護支援専門員の資質向上を図ることを目的とした研修会を開催する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○第1回包括的支援事業研修会 ・開催日 令和7年7月24日（木） ・受講者 80人 ・テーマ「認知症の方を地域で支えるために」 ○第2回包括的支援事業研修会 ・開催日 令和7年12月17日（水） ・受講者 72人 ・テーマ「認知症の人と家族を理解する」 【成果】 ○「認知症当事者と家族の思いについて理解し、支援に生かす。」を目標に、2回実施。アンケート結果から各回の受講者9割以上が内容を理解でき、知識の普及が図られた。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】研修会を実施し介護支援専門員などの資質向上に寄与している。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 研修希望や、他関係機関の研修企画を確認しながら、効果的な開催に向けて取り組んでいく。

事業名	高齢者福祉に関する理解促進事業
担当課	高齢福祉課
概要	○介護・福祉サービス事業に携わる関係者、介護・福祉に関心のある住民や高齢者福祉に携わる行政職員等を対象とした研修会を開催する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○高齢者福祉合同研修会 ・開催日 令和7年10月15日（水） ・場 所 八戸市庁 本館地下会議室B、他町村が設置する会場 ・方 法 オンライン形式 ・受講者 238人（うち八戸市90人） ・内 容 講演① テーマ：在宅医療のACPと看取りについて 講 師：医療法人はちのへファミリークリニック 理事長 小倉 和也 氏 - 講演② テーマ：“生”を支えるケアの実践 －看取りと意思決定支援の現場から－ 講 師：株式会社 絵夢プランニング 代表取締役 丸山 康子 氏 【成果】 ○実施したアンケートでは、95%以上の参加者が「参考になった」と回答し、看取り支援に関する理解促進に繋がったと考えられる。自由記述では、看取り期の意志決定支援や多職種連携の必要性を理解し、今後の業務に活かしたいという感想が多かった。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】 予定通り実施し、アンケート結果も良好だった。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

3 在宅医療・介護連携の推進

事業名	在宅医療・介護連携推進事業
担当課	高齢福祉課
概要	○地域の医療・介護資源の把握 医療と介護の施設情報をまとめた「はちのへ圏域医療・介護連携マップ」を Web 上で公開し、医療・介護関係者や地域住民へ情報を提供する。 ○在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 医療と介護の専門職による連携に関する課題の抽出と対応策を検討することを目的に、多職種連携意見交換会を開催する。 ○切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進 訪問診療や往診を提供する医療機関と訪問看護ステーション等から、切れ目なく在宅医療を提供するための方策について意見を聴取し、体制の構築を推進する。 ○在宅医療・介護関係者に関する相談支援 医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターを配置する在宅療養相談窓口を設置・運営する。 ○地域住民への普及啓発 在宅医療・介護サービス、看取りを含む人生会議（ACP）の普及啓発について、講座の開催やパンフレットの作成・配布を行う。 ○医療・介護関係者の情報共有の支援 在宅医療と介護が途切れることなく一体的に提供されるよう、医療・介護関係者間の情報共有 ICT ツールを活用した情報共有の支援を行う。 ○医療・介護関係者の研修 医療・介護関係者の多職種を対象に、相互理解や情報共有等による関係の構築及び連携促進を目的に、多職種連携研修会を開催する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○地域の医療・介護資源の把握 ・「はちのへ圏域医療・介護連携マップ」の情報を毎月更新した。（八戸市医師会へ委託）。 ○在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 ・医療と介護の多職種連携意見交換会を2回開催した。 ・テーマ：総合事業の現状、身寄りのない高齢者への支援 ○切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進 ・医療・介護・福祉の専門職等を対象とした事例検討会を開催した（NP0 法人 Reconnect へ委託）。オンラインで12回開催し参加者数は延べ165人。 ○在宅医療・介護関係者に関する相談支援 ・在宅療養相談窓口において26件に対応した（八戸市医師会へ委託）。 ○地域住民への普及啓発 ・ACPに関するパンフレットを作成、配布した。 ○医療・介護関係者の情報共有の支援 ・ICTツールにより、医療機関・介護事業所間の情報共有を支援した（NP0 法人 Reconnect へ委託）。 ○医療・介護関係者の研修 ・医療と介護の多職種連携研修会を1回開催した。（参加者数38人） ・テーマ：ACP（人生会議）について ○情報共有 ICT ツールの普及啓発を行った。（利用事業所数333事業所、総利用者数13,826人）

	【成果】 ○「はちのへ圏域医療・介護連携マップ」の年間ページビュー数は 101,894 件に達し、関係者による地域の社会資源把握に役立てられた。 ○医療と介護の多職種による連携意見交換会を開催し、救急搬送時における医療・介護連携 ICT ツールの活用に関する課題とその解決策、口腔機能向上事業の今後の方向性について、関係者から意見を聴取することができた。 ○医療・介護・福祉の専門職等を対象とした事例検討会を開催し、感染症・看取り・救急搬送等における連携の必要性について理解が深まった。 ○ACP において、価値観に関するコミュニケーションスキル向上につながった。 ○ICT ツールにおける消防（救急隊）の参加により、高齢者本人及び家族の意思を尊重した救命や搬送につながったほか、支援側の負担軽減を図ることができた。
自己点検結果	□順調に進んでいる ■概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】 計画どおり事業を実施できている。一方で、高齢者対象のアンケート結果からは「終末期における医療や介護について考えている」との回答割合は上昇しているのに対して、「家族等身近な人へ伝えている」との回答割合が低下しているため、地域住民への普及啓発の方法に工夫が必要と考えられる。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 2040 年に向けて医療と介護の両方を必要とする高齢者が増加することが見込まれており、入退院や在宅療養の場面で医療・介護の連携が不可欠であることから、「継続」とする。

4 認知症施策の推進

事業名	認知症サポーター養成・活動促進事業
担当課	高齢福祉課
概要	○認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に対する正しい知識の普及啓発と、認知症の人を支援するボランティアを育成する。 ○認知症サポーター養成講座の講師となるキャラバン・メイトの養成及び活動の支援を実施する。 ○認知症サポーター等で構成する支援チーム「チームオレンジ」を整備し、認知症の人やその家族のニーズに合わせた支援を実施する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○認知症サポーター養成講座の開催 ・認知症サポーター養成講座の実施（29 回、615 人） ○キャラバン・メイトの養成及び活動支援 ・キャラバン・メイトの養成（養成数 8 人） ・キャラバン・メイト全体会議の実施（1 回、38 人） ・新任キャラバン・メイト説明会の実施（2 回、8 人） ○チームオレンジ「はちのへ」の整備と支援 ・登録者 17 人、チームオレンジコーディネーター 3 人（市職員） ・チームオレンジの活動（80 回、延べ 300 人） ・チームオレンジの活動内容 市認知症カフェの事前準備及び当日ボランティア、民間認知症カフェでのボランティア、認知症フォーラムの事前準備及び当日従事、街頭での普及啓発活動、認知症サポーターキャラバンマスコットのぬいぐるみやキーホルダーの作成 【成果】 ○認知症への知識や理解を深める市民が増加した。 ○認知症やその家族のニーズに合わせた支援を行う市民が増加した。 ○認知症に関するボランティアを行う市民の活動が増加した。主体的な活動がされるようになってきた。
自己点検結果	□順調に進んでいる ■概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】 認知症サポーター養成数の目標値である 800 人に令和7年度の養成数が達していないため
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 概ね順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	認知症予防事業
担当課	高齢福祉課
概要	○介護予防センターにおいて、個別相談、集いの場や各種教室等を実施するほか、懐かしい写真や生活用具などを用いて、自分自身が体験したことを語り合ったり、過去のことを思い巡らせたりすることで、認知機能低下を予防する「思い出回想法」を実施する。 ○思い出回想法の修了者が、自主活動として主体的に介護予防活動を実践できるよう支援する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○認知症予防事業（介護予防センター実施分） ・元気高齢者のための介護予防カウンセリング（認知症予防に関する相談）の実施。（7回、7人） ・集いの場の実施。（300回、延べ6,153人） ・シニアいきいき教室（介護予防教室）の実施。（2回、延べ34人） ・思い出回想法の実施。（11回、延べ51人） ○思い出回想法修了者の自主活動支援 ・事業修了後に新しく自主活動グループとなった4人に対して、自主活動に関する説明、活動内容の助言等を行い、継続して介護予防活動ができるよう支援した。また、他の自主活動グループとの合同活動への参加を奨励し、2人が参加した。 【成果】 ○参加者の閉じこもり予防や認知機能低下予防につながった。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】参加者が概ね増加しているため
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	認知症地域支援・ケア向上事業
担当課	高齢福祉課
概要	○医療機関や介護サービス及び地域の関係機関との連携を図るための支援や認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行う認知症地域支援推進員を配置する。 ○認知症の進行状況に合わせ、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受ければ良いか、標準的な流れをまとめた認知症ケアパスを作成・配付する。 ○認知症の人の社会参加など、認知症の人にやさしい地域づくりについて検討するため、関係機関で構成される認知症総合支援検討会議を開催する。 ○認知症の人や家族が、地域の人や専門家と相互に情報共有し、お互いを理解し合うことを目的に「認知症カフェ」を開催する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○認知症地域支援推進員の配置 31人 ・内訳：市地域包括支援センター 6人 - 高齢者支援センター 20人 - 介護予防センター 5人 ○認知症の本人向けリーフレットの作成・配付 ・印刷部数：3,500冊 ・配付先：市内48か所の忘れ相談医・認知症診断医療機関、相談機関等 ・掲載状況：市ホームページ ○認知症ケアパスの作成・配付 ・印刷部数：3,500冊 ・配付先：市内124か所薬局、相談機関等 ・掲載状況：市ホームページ、広報はちのへ、わが家の健康カレンダー、市デジタルサイネージ、市公式LINE ○認知症総合支援検討会議 ・開催日 令和7年11月12日（水） ・委員 19名 ・議事 ①八戸市認知症施策概要について ②八戸市認知症初期集中支援事業について ③認知症ケアパスについて ④認知症の本人向けリーフレットについて ⑤八戸市認知症施策推進計画策定スケジュールについて ○市認知症カフェの実施（6回、延べ91人） 【成果】 ○令和7年度八戸市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査によると、認知症に関する相談窓口について「知らない」と回答した人が70.2%（前回調査72.8%）であった。 ○認知症の人やその家族等に対し、支援を実施した。 ○市の認知症施策に関する課題や改善点が認識できた。
自己点検結果	□順調に進んでいる ■概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】相談窓口の認知度は少しずつ高まっているが、市の認知症関連事業については、引き続き普及啓発を行い、経年的な認知度の推移を把握していく必要があるため。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 地域住民に広く事業が周知されるよう、効果的な方法を検討しながら、令和8年度以降も継続して実施する。

事業名	認知症初期集中支援推進事業
担当課	高齢福祉課
概要	○認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族に対し、訪問や観察・評価、家族支援等の初期支援を包括的、集中的に行い、自立生活のサポートを行う。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○チーム設置数 直営1か所（市地域包括支援センタ） ○チーム員 40人 内訳：非常勤嘱託医 1人 市地域包括支援センター 6人 高齢者支援センター 30人 介護予防センター 3人 ○チーム員会議 5回実施（偶数月に実施しているが、8月については検討ケースが不在のため未実施となった） ○支援チーム対応人数 6人 【成果】 ○生活状況の把握を行うとともに、かかりつけ医、親族、近隣住民との情報共有を図り、地域における見守り体制の構築につなげた。
自己点検結果	□順調に進んでいる ■概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】認知症の人やその家族に対する早期対応に向け、複数の専門職で支援方法の検討や訪問等の支援を行った。認知症に対する偏見や理解不足等から、医療機関への受診につなげることが難しい事例もあった。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 認知症に関する相談窓口の周知や当該事業の普及啓発について、令和8年度以降も継続して実施する。

事業名	家族介護支援事業
担当課	高齢福祉課
概要	○認知症への理解促進や認知症に関わる各種団体の連携強化を目的に「認知症フォーラム」を開催する。 ○認知症の人と家族の会が実施している「認知症の人を抱える家族のつどい」の開催に対して協力する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○はちのへ認知症フォーラム開催 ・テーマ：見逃さないで！認知症への入口 ・日時：令和7年10月26日（日）13：15～15：35 ・会場：八戸市総合保健センター1階大ホール ・内容：①認知症専門医、認知症ピアサポーターとご家族からの講話 ②スライド劇 ③八戸市の認知症施策について ④認知症関連団体の活動ポスター等展示による、認知症普及啓発のための情報発信 ・来場者：284人 ・スタッフ：市職員6人、委託先の会員他36人 ・受託者：公益社団法人 認知症の人と家族の会青森県支部 ○「認知症の人を抱える家族のつどい」への協力（貸館） 公益社団法人 認知症の人と家族の会青森県支部が開催する、八戸圏域の「認知症の人を抱える家族のつどい」の開催時に、介護予防センターホールを無償で貸し出した。（年6回、延べ84人参加） 【成果】 ○認知症フォーラム開催によって、認知症への住民の理解が深まった。また、認知症に関わる関係団体がスタッフとして多数入ることで、団体同士の連携強化につながった。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】予定通り認知症フォーラムを開催し、過去最高の参加者数となった。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

5 生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進

事業名	生活支援体制整備事業
担当課	高齢福祉課
概要	○資源開発、ネットワーク構築、ニーズと取組（生活支援サービス）のマッチングを行う生活支援コーディネーターを、市の区域（第1層）及び日常生活圏域（第2層）に配置する。 ○生活支援コーディネーターを補完し、多様な主体間の情報共有及び連携・協働による体制整備を推進する八戸市生活支援体制整備推進協議会（第1層協議体）を開催する。 ○住民ニーズの把握と自助や互助の取組を促進するため、日常生活圏域ごとにワークショップ（第2層協議体）を開催する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○生活支援コーディネーターの配置 ・第1層生活支援コーディネーター3人（市高齢福祉課内に配置） ・第2層生活支援コーディネーター24人（高齢者支援センター12か所×2人配置） ○八戸市生活支援体制整備推進協議会の開催 ・第1回（令和7年10月8日（水）） 議 事 ①八戸市地域包括ケアシステム推進学生サポーター養成研修の開催報告 ②住み慣れた地域での生活を考えるワークショップの開催報告 ③生活支援コーディネーターの変更 ・第2回（令和8年2月4日（水）） 議 事 ①住み慣れた地域での生活を考えるワークショップの開催報告 ②第2層生活支援コーディネーターの活動 ③生活支援コーディネーターの変更 ○住み慣れた地域での生活を考えるワークショップの開催 ・第1回 令和7年6月29日（日）根城公民館 対象：根城地区住民等 ・第2回 令和7年7月13日（日）柏崎公民館 対象：柏崎地区住民等 ・第3回 令和7年11月8日（土）根岸公民館 対象：根岸地区住民等 ・第4回 令和7年11月9日（日）市総合保健センター 対象：中居林地区住民等 【成果】 ○地域における支援体制の充実・強化及び住民からの生活支援サービス等に関する相談への適切な対応につながった。 ○通いの場マップにより、地区ごとの社会資源や空白地区の見える化が図られた。 ○多様な関係主体からの意見を踏まえ、生活支援体制整備事業の推進につながるとともに、生活支援コーディネーターの活動支援につながった。 ○地域住民のニーズの把握につながった。 ○住民自身が地域課題の解決策を図ることの意識醸成が図られ、地域での支え合いの体制づくりの推進につながった。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】滞りなく、各取組を進めることができた。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、引き続き必要な取組を精査しながら事業を継続。

6 地域ケア会議の推進

事業名	地域ケア会議推進事業
担当課	高齢福祉課
概要	○地域ケア個別会議を開催し個別事例の課題を検討する。 ○地域ケア圏域会議を開催し圏域レベルの地域課題を協議する。 ○地域ケア推進会議を開催し地域に必要な取組みを明らかにして施策を立案・提言する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○地域ケア会議個別会議 72回開催（78件検討） 主な内容：「閉じこもり・体力低下防止への対応」、「認知症への理解・支援」、「日常生活支援」等 ○地域ケア会議圏域会議 20回開催 主な内容：「地域資源ネットワーク構築」、「地域活動への担い手不足対策の充実」等 ○地域ケア会議推進会議 1回開催 検討内容：「身寄りのない高齢者への支援について」 【成果】 ○地域ケア会議（個別・圏域）からの地域課題の明確化が進んできており、情報共有や解決策の検討が深まっている。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】地域ケア会議から抽出された地域課題、その対策検討について各事業推進に活かしている。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 各事業へ地域課題としての情報提供や課題の解決策検討の場としての活用が効果的に実施できるよう目指していく。

7 高齢者の居住安定に係る施策との連携

事業名	老人ホーム入所措置事業
担当課	高齢福祉課
概要	○環境上や経済上等の理由により、在宅で生活が困難な高齢者を養護老人ホームへ入所させる。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○長生園（定員 50 人）の入所者数 50 人 うち八戸市措置者数 43 人 市外の市町村からの措置者数 7 人 ○八戸市から市外施設への措置者数 6 人 晴ヶ丘老人ホーム（六戸町）4 人、津軽ひかり荘（弘前市）2 人 ○八戸市の総措置者数 49 人 【成果】 ○心身状態、環境上の理由及び経済的理由により、家庭での養護が難しい高齢者について、養護老人ホームへ入所措置を行い高齢者福祉の向上につながった。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】昨年度に引き続き、要綱に沿って適切に措置入所を行っている。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	老人福祉施設等整備支援事業
担当課	高齢福祉課
概要	○老人福祉施設等の改築や設備導入等経費に対する補助を行う。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○老人福祉の向上を図るため、老人福祉施設等の整備に要する経費について補助金を交付する。 【成果】 ○令和7年度は施設側から申請がなく補助金の交付はなかった。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】施設側から申請があった際に交付できるよう準備できている。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	軽費老人ホーム運営支援事業
担当課	高齢福祉課
概要	○軽費老人ホームの運営経費（事務費）に対する補助を行う。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○老人福祉の向上を図るため、社会福祉法人が設置する軽費老人ホーム運営に要する経費について補助金を交付した。 ・軽費老人ホーム 5 か所 定員 169 人 【成果】 ○補助金の交付により、入居者が負担する事務費について低所得者の負担軽減が図られた。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】予算の範囲内で確実に各施設に補助金を交付できている。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	生活支援ハウス運営事業
担当課	高齢福祉課
概要	○60 歳以上で家族の支援が難しく、1 人暮らしに不安のある方に、一時的に居住を提供する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○施設数 2 施設 ○利用者数（実人数） 14 人 【成果】 ○高齢者に対し、生活支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することができた。 ○高齢者が安心して生活を送ることができ、高齢者福祉の増進が図られた。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】利用ニーズがある方に対し、委託施設や関係機関と連携し必要な支援をすることができた。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	老人福祉施設等への指導・監督
担当課	高齢福祉課
概要	○老人福祉施設等の運営や処遇が適正となるよう、指導や助言を行う。
令和7年度 実施結果	【取組内容】 ○実地にて立入検査を実施した。 ・有料老人ホーム 4施設 ・サービス付き高齢者向け住宅 1施設 【成果】 ○指導及び助言により、法人の運営や処遇が適正に行われるようになり、改善が図られた。
自己点検 結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】施設に対して適正に指導や助言を行うことができています。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	老人福祉法の届出
担当課	高齢福祉課
概要	○老人福祉施設等の設置・運営に関する各種届出の受理・審査を行う。
令和7年度 実施結果	【取組内容】 ○受理件数 28件（軽費老人ホーム7件、有料老人ホーム21件） 【成果】 ○速やかに届出され、記載内容に相違ない運営がなされた。
自己点検 結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】昨年度同様、速やかに届出され、記載内容に相違ない運営がなされた。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	市営住宅における優先入居
担当課	建築住宅課
概要	○市営住宅への入居に際し、高齢者世帯等の居住の安定を図る必要がある世帯に対し、優先的な取扱いを行う。
令和7年度 実施結果	【取組内容】 ○市営住宅の定期募集を年4回実施（4月、7月、10月、1月）し、一定の割合で高齢者世帯等を対象に優先入居枠を設けた。 ・7年度優先入居枠 3戸 【成果】 ○高齢者世帯等の居住の安定が図られた。
自己点検 結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】自力での住居確保が困難な高齢者世帯等へ優先枠を遅滞なく提供し、計画通り入居へ繋げることができた。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

施策3

介護が必要な人とその家族の生活全体を支えるための
介護サービスの充実

I 成果指標

成果指標	現状値	実績値			目標値
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
第1号被保険者における 中重度者認定率の割合	10.38%	10.09%	10.01%	%	11%以内
介護ロボットの活用事業所	14%※	—	—	%	16%
ケアプランデータ連携 システム活用事業所	6.8%※	5.0%	25.0%	%	50%

※令和5年8月現在の数値（計画策定年度に調査を実施。）

II 実施結果

登載事務事業数 13 事業
・実施済 13 事業
・未実施 0 事業

1 適正な介護サービス提供体制の整備（4事業）

令和6年度及び令和7年度の公募により介護施設等の整備事業者を選定し、介護サービスの基盤強化を進めた。

2 介護人材の確保と定着の推進（6事業）

中学・高校で出前講座を行い、介護ロボット体験や施設の職員による講話を通して、介護職のイメージアップを図った。

また、介護支援専門員の資格取得等の費用の半額の助成による介護人材の資質向上や、運営指導や研修会による介護人材定着の推進を図った。

3 介護保険制度の適正な運営（3事業）

介護サービスの適正利用のため、要介護認定の適正化、ケアプラン等の点検、医療情報との突合・縦覧点検の給付適正化主要3事業を実施や、介護保険施設に対して、令和6年度の改正内容が取り組まれているか等を確認し、効果的・効率的な運営指導や集団指導を実施した。

1 適正な介護サービス提供体制の整備

(1)施設等の整備

事業名	特別養護老人ホームの増床又は短期入所生活介護からの転換
担当課	高齢福祉課、介護保険課
概要	○特別養護老人ホームの増床（15床）又は既存の短期入所生活介護から特別養護老人ホームへの転換（15床）を図る。
令和6年度 実施結果	【取組内容】 ○公募により事業者を選定した。 募集期間：令和6年10月1日～11月15日 選考会：令和7年1月24日 選定事業者：2事業者（転換15床） ※2事業者共にR7.4.1付で短期入所生活介護から特別養護老人ホームへの転換を実施済（15床） 【成果】 ○特別養護老人ホームの定員数が増加したことにより、入所待機者の解消につながり、高齢者福祉の向上が図られた。
自己点検 結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】計画通り整備が完了したため
今後の方向性	□ 継続 □ 拡大 □ 縮小 ■ 廃止 整備が完了したため、令和6年度で事業完了

事業名	特定施設入居者生活介護（介護付きホーム）への転換
担当課	介護保険課
概要	○既存の有料老人ホーム又はサービス付き高齢者向け住宅から、特定施設（120床）への転換を図る。
令和7年度 実施結果	【取組内容】 ○1事業者の整備が完了し、R8.4.1付で有料老人ホームから特定施設への転換（29床）を実施済み。 【成果】 ○特定施設の定員数が29床増加した。
自己点検 結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】120床の内29床の整備が完了し、令和8年度には残り91床の整備が完了予定である。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度も同様に実施予定。（令和8年度中に完了予定）

事業名	地域密着型サービスの整備
担当課	介護保険課
概要	○グループホーム（36床）を整備する。 ○看護小規模多機能型居宅介護（1か所）を整備する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○令和6年度に整備事業者の決まらなかったグループホーム残り18床について、再度公募を実施し、整備事業者を選定した。 募集期間：令和7年9月1日～11月14日 選考会：令和8年1月21日 選定事業者：グループホーム1事業者（18床）※令和8年度より整備開始予定 ○令和6年度に決定済みの事業者については、令和8年度中の完了に向けて整備を進めている。 【成果】 ○整備事業者が未定だったグループホーム18床についても事業者が決まり、全ての募集サービスについて整備の目途が立った。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】整備事業者が全て決定し、開設に向けて整備を進めている。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。 （令和6年度選定事業者については令和8年度、令和7年度選定事業者については令和9年度完了予定）

(2)サービスの充実

事業名	地域密着型サービスの整備【再掲】
担当課	介護保険課
概要	○グループホーム（36床）を整備する。 ○看護小規模多機能型居宅介護（1か所）を整備する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○令和6年度に整備事業者の決まらなかったグループホーム残り18床について、再度公募を実施し、整備事業者を選定した。 募集期間：令和7年9月1日～11月14日 選考会：令和8年1月21日 選定事業者：グループホーム1事業者（18床）※令和8年度より整備開始予定 ○令和6年度に決定済みの事業者については、令和8年度中の完了に向けて整備を進めている。 【成果】 ○整備事業者が未定だったグループホーム18床についても事業者が決まり、全ての募集サービスについて整備の目途が立った。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】整備事業者が全て決定し、開設に向けて整備を進めている。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。 （令和6年度選定事業者については令和8年度、令和7年度選定事業者については令和9年度完了予定）

2 介護人材の確保と定着の推進

(1) 人材確保・定着

事業名	介護支援専門員資格取得・定着支援
担当課	介護保険課
概要	○介護支援専門員が5年ごとに受ける法定研修の費用の1/2を補助する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○交付事業所数 37事業所（延べ61人） 交付額 957,000円 【成果】 ○補助金の交付により、介護支援専門員及び主任介護支援専門員の研修受講料の経済的負担軽減が図られた。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】前年並みの申請があり、経済的負担軽減が図られた。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 介護支援専門員の資格更新制が廃止され、継続的な法定研修の受講が義務化される方針が国から示されことから、制度改正の内容を確認し、支援を継続する。

事業名	介護の仕事理解促進事業
担当課	介護保険課
概要	○出前講座や市ホームページ等を通し、小中高生及び保護者・教職員に対し、介護職の魅力を発信する。
令和7年度実施結果	【取組内容】出前講座 介護従事者による講話（介護の魅力）、福祉用具体験（リフト、電動車いす等）、高齢者疑似体験等 【実績】 ○講座開催 市立第一中学校 生徒133名（令和7年6月20日実施） 市立明治中学校 生徒18名（令和7年6月30日実施） 八戸工業大学第二高等学校 生徒24名（令和7年7月3日実施） 県立八戸北高等学校 生徒29名（令和7年7月25日実施） ○新聞記事掲載 県立八戸北高等学校での「介護出前講座」の様子が新聞に掲載された。 【成果】 ○実施したアンケートでは、約9割の生徒が「イメージが変わった」と回答し、どのように変わったかの自由記述では、「重労働というイメージが大きかったけれど、感謝されたりやりがいを感じる仕事だと分かった」、「講義を受けて介護の重要性と仕事内容がわかって良かった」等、介護職への正しい理解やイメージアップに繋がったと考えられる。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】中高生への講座実施等を通じて、介護職の理解促進やイメージアップを図ることができた。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、前年度と同様に実施予定。

(2) 介護サービス従事者の資質向上

事業名	介護支援専門員の資質向上
担当課	介護保険課、高齢福祉課
概要	○運営指導、ケアプラン点検、地域ケア会議、研修会の開催等を通じて、ケアマネジメントスキルの向上を図る。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○運営指導 居宅介護支援事業所 19事業所 ○ケアプラン点検 121件 ・運営指導時に実施した点検 113件 ・給付実績から抽出 他 8件 ○認定調査員等研修会（オンライン形式） 令和8年2月16日（月）～3月6日（金） 内容：要介護認定及び認定調査等について 参加者：56名 ○集団指導（再掲） 令和7年5月21日（水）～22日（金） 参加者事業所数：56事業所（119名） ○リハビリテーションに関する研修 令和8年1月29日（木）（再掲） 内容：リハビリテーションサービス提供体制の構築 参加者：76名 【成果】 ○居宅介護支援事業所に対する運営指導の実施件数を増やしたことで、直接的な指導及び情報共有ができたため、スキルの向上につながった。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】運営指導や研修会等の機会を通じて、ケアマネジメントスキルの向上が図られた
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、前年度と同様に実施予定

事業名	介護業務の革新・業務効率化の取組強化
担当課	介護保険課
概要	○地域におけるモデル事業者の取組状況を把握し、他事業所への波及を図る。 ○「ケアプランデータ連携システム」「電子申請・届出システム」の活用普及に向け、支援を行う。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○令和8年3月18日（水）ZOOM（オンライン研修） ・ 八戸市総合保健センター大ホール ・ テーマ：㈱ビリーブケアサポートにおけるケアプランデータ連携システム導入の取組について ・ 受講者：32 法人 ※関連事業所数 155 事業所 【成果】 ○研修後のアンケート調査で全ての法人が「導入する」または「導入する見込み」と回答しており、研修による導入促進が図られた。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】市内介護事業所におけるケアプランデータ連携システム導入率は、令和6年度の5%であったものが、令和7年度は約25%へと増加したため。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、前年度と同様に実施予定。

（3）外国人介護人材の受け入れ

事業名	外国人介護人材受入れ施設等環境整備事業
担当課	介護保険課
概要	○受入れ施設のコミュニケーションを促進する取組や生活支援に要する費用の一部を補助する。 ○研修や交流会を通して情報交換を行う。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○外国人介護人材定着事業 ・ 補助事業所 9 法人 10 事業所 ・ 補助金額 1,915,000 円 ・ 補助内容 ①生活支援（外国人介護人材受入住居の家賃、光熱水費、備品購入費用） ②コミュニケーション促進費用（オンラインで母国と連絡、交流するためのOA機器購入費、日本語能力資格取得支援費） 【成果】 ・ 賃貸物件の初期費用や生活必需品の購入費用が補助されたことで、技能実習生等の経済的負担が軽減された。 ・ 日本語能力を向上することで、利用者とのコミュニケーションがとれるようになった。 ○外国人介護人材交流会・研修会事業（研修会の実施） ・ 目的：生活介護技術や専門知識を学ぶことで、外国人介護人材本人の将来のキャリア形成につなげる ・ 日時：令和7年11月1日～12月27日（計4回） ・ 委託先：八戸学院地域連携研究センター ・ 場所：①八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部サテライト「まちなかラボ」 ②八戸学院光星高校通信制キャンパス ・ 参加者：延べ17人 （交流会の開催） ・ 日時：令和7年12月27日 ・ 委託先：八戸学院地域連携研究センター ・ 場所：八戸学院光星高校通信制キャンパス ・ 参加者：21名 ・ 内容：ワールドカフェ（座談会）及び懇親会の実施 【成果】 ・ 外国人介護人材にとって介護技術や知識を学ぶことで、専門職としての力を身に着けることができた。 ・ 交流会では、外国人介護人材同士の交流により、日常生活や仕事での悩み等を共有することができた。 ○外国人介護人材相談ヘルプデスク ・ 目的：介護業務に従事する外国人等が、介護施設での雇用環境、生活習慣、言語の違い等により直面する困りごとや悩みごとについて、問い合わせや相談できる窓口を設置 ・ 相談件数：実績なし

自己点検 結 果	☐ 順調に進んでいる ☒ 概ね順調（改善の余地あり） ☐ 順調でない（改善が必要） 【理由】 外国人介護人材相談ヘルプデスクへの相談はなかったが、外国人に対して、当該事業の認知度を高めるための周知が必要である。
今後の方向性	☐ 継続 ☐ 拡大 ☒ 縮小 ☐ 廃止 これまで県の補助金を活用し、市が事業を実施していたが、令和8年度からは、県が事業を実施することとなったため、今後は、事業者等に対し、県事業の活用について周知を図っていく。

（４）介護業務の革新・業務効率化

事 業 名	介護業務の革新・業務効率化の取組強化【再掲】
担 当 課	介護保険課
概 要	○地域におけるモデル事業者の取組状況を把握し、他事業所への波及を図る。 ○「ケアプランデータ連携システム」「電子申請・届出システム」の活用普及に向け、支援を行う。
令和7年度 実 施 結 果	【取組内容】 ○令和8年3月18日（水）ZOOM（オンライン研修） ・八戸市総合保健センター大ホール ・テーマ：㈱ビリーブケアサポートにおけるケアプランデータ連携システム導入の取組について ・受講者：32 法人 ※関連事業所数 155 事業所 【成果】 ○研修後のアンケート調査で全ての法人が「導入する」または「導入する見込み」と回答しており、研修による導入促進が図られた。
自己点検 結 果	☒ 順調に進んでいる ☐ 概ね順調（改善の余地あり） ☐ 順調でない（改善が必要） 【理由】 市内介護事業所におけるケアプランデータ連携システム導入率は、令和6年度の5%であったものが、令和7年度は約25%へと増加したため。
今後の方向性	☒ 継続 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止 順調に進んでいるため、前年度と同様に実施予定。

3 介護保険制度の適正な運営

(1) 介護給付の適正化

事業名	介護給付適正化事業																
担当課	介護保険課																
概要	○介護サービスが適正に利用されるよう給付適正化主要3事業を実施する。 ①要介護認定の適正化 認定調査票の点検、認定調査員等研修会の開催、e-ラーニングシステムの登録者数・受講率の促進 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>目標（各年度）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定調査票の点検</td><td>全 8,273 件</td></tr> </tbody> </table> ②ケアプラン等の点検 ケアプラン点検、住宅改修及び福祉用具購入・貸与の点検 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>目標（各年度）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケアプラン点検</td><td>51 件</td></tr> <tr> <td>住宅改修及び福祉用具購入事前点検</td><td>全 220 件</td></tr> <tr> <td>住宅改修及び福祉用具購入・貸与訪問調査</td><td>20 件</td></tr> </tbody> </table> ③医療情報との突合・縦覧点検 国保連への業務委託による給付実績等の確認 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>目標（各年度）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療情報との突合・縦覧点検</td><td>事業所へ返還の多い事例を年に1回周知することで請求誤りの防止に努める。</td></tr> </tbody> </table>		目標（各年度）	認定調査票の点検	全 8,273 件		目標（各年度）	ケアプラン点検	51 件	住宅改修及び福祉用具購入事前点検	全 220 件	住宅改修及び福祉用具購入・貸与訪問調査	20 件		目標（各年度）	医療情報との突合・縦覧点検	事業所へ返還の多い事例を年に1回周知することで請求誤りの防止に努める。
	目標（各年度）																
認定調査票の点検	全 8,273 件																
	目標（各年度）																
ケアプラン点検	51 件																
住宅改修及び福祉用具購入事前点検	全 220 件																
住宅改修及び福祉用具購入・貸与訪問調査	20 件																
	目標（各年度）																
医療情報との突合・縦覧点検	事業所へ返還の多い事例を年に1回周知することで請求誤りの防止に努める。																
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○全ての認定調査の結果について保険者による点検を実施。 ○調査員を対象とした市独自の研修を年1回実施しているが、令和7年度からは新たにオンライン研修に変更し、受講者の都合に合わせ、繰返し受講できるようにした。このほか、e-ラーニングシステムの積極的な活用を促した。 ○効果的な点検となるよう、毎年度異なる角度から対象事業者を絞り込みし、アセスメントを中心とした方法により、ケアプラン点検を実施。 ○住宅改修及び福祉用具購入について、介護支援専門員により全件事前点検、庁内の建築士有資格者による専門的な点検を実施。また、現地調査を行い、受給者の状態に適した利用となっているか確認した。 ○福祉用具について、商品毎に貸与価格の上限が設けられたことから、上限を超えるケースがないか点検した。 ○医療情報との突合・縦覧点検について、国保連から提供される情報を確認し、疑義があるものについては事業所に問い合わせている。他にも介護給付適正化支援システムを活用し直近の給付データや詳細な加算取得情報から軽度者の福祉用具貸与利用状況の把握や運営指導、ケアプラン点検に活かしている。 【成果】 ○給付適正化主要3事業を実施し、介護サービスが適正に利用されるよう促すことができた。																
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】 予定通り事業を実施し、給付の適正化が図られた。																
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。																

(2) 介護保険施設等への指導監督

事業名	介護事業者への指導・監督
担当課	介護保険課
概要	○令和6年度法改正による新たな基準、感染症及び非常災害に関する業務継続計画（BCP）の作成、虐待防止対策、ハラスメント対策の強化について重点的に指導、助言を行う。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○集団指導の実施 日時 令和7年5月21日、22日 場所 八戸市保健センター 参加者数 419 事業所 ○運営指導 92 事業所 ○業務管理体制一般検査 28 法人 【成果】 ○介護事業所への指導及び助言により、法令順守の周知徹底や虐待防止対策及びハラスメント対策の強化が図られた。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】 計画どおりの事業所数の運営指導を実施できた。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 保険給付の適正化及び介護サービスの質の確保を図るため継続する。

(3) 市民意識の醸成

事業名	介護保険制度周知事業
担当課	介護保険課
概要	○介護保険制度の広報啓発を目的とした出前講座を開催する。 ○介護保険制度や介護サービス事業者の情報等について、広報はちのへやホームページ、冊子等の各種媒体により広報啓発する。
令和7年度実施結果	【取組内容】出前講座 【内容】町内会等が主催する勉強会等に職員が出向き、主催者の要望に応じてパワポ資料やパンフレットを用い制度説明を行うほか、質疑応答に対応する。 【成果(実績)】開催回数合計 15回 参加者数合計 478名 ハネット福祉オンブズマン他 延15団体
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調(改善の余地あり) □順調でない(改善が必要) 【理由】複数の団体から依頼を受け、介護保険制度の周知を図ることができた。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

施策4

すべての市民の人権が尊重され、
地域全体で支え合うための安全・安心な暮らしの確保

I 成果指標

成果指標	現状値	実績値			目標値
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
困りごとを相談できる人や窓口がある高齢者の割合※	96.0%	—	96.4%	—	96.2%
成年後見制度相談件数	221件	260件	271件	件	230件

※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の評価項目（計画策定の前年度に実施）

II 実施結果

登録事務事業数	29事業
・実施済	29事業
・未実施	0事業

1 地域見守り体制の充実（7事業）

関係機関とのネットワークの構築により、地域における高齢者の見守り体制の充実を図った。

2 成年後見制度の利用促進（8事業）

成年後見制度の普及啓発や同制度の利用も含めた権利擁護の総合相談の実施のほか、市民後見人に対するフォローアップ研修の開催により、制度利用の促進及び体制の充実を図った。

3 虐待防止の推進（5事業）

高齢者虐待防止に関する普及啓発や研修会の開催により、虐待防止への理解促進を図るとともに、関係機関との連携の構築により、虐待の早期発見による適切な支援を実施した。

4 在宅生活支援の充実（5事業）

在宅生活支援サービスの提供により、高齢者単身世帯や高齢者のみ世帯、在宅で高齢者を介護している家族の負担軽減を図った。

5 緊急時に備えた体制の整備（4事業）

介護保険施設等に対する避難確保計画及び事業継続計画の作成の周知や、避難行動要支援者名簿、個別避難計画の作成により、災害や感染症に備えた体制整備が進んだ。

1 地域見守り体制の充実

事業名	地域の安心・安全見守り活動推進事業
担当課	福祉政策課
概要	○宅配業者、タクシー会社、新聞販売店など「地域の安心・安全見守り協定」を締結し、事業者が業務上把握した地域住民の状況に関する情報提供を受け、必要な対応につなげる体制を構築する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○協力事業者数 48 事業者（前年度+2） ○協力事業者からの通報件数 323 件 ○情報交換会の開催（1月19日、20事業者が出席） ○広報はちのへ及び市ホームページへの事業掲載 ○協力事業者が通報先を容易に調べられる市 LINE 公式アカウントの活用 【成果】 ○協力事業者からの通報により、救急搬送など早期対応・発見の一助となった。 ○様々な事例の紹介や通報先の確認を行い、現場職員の対応力の強化につながった。 ○LINE 公式アカウントの活用により見守り活動の円滑化が図られた。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】新たに2事業者と協定を締結し、見守り体制の強化に繋がれたため。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	ほのぼのコミュニティ 21 推進事業
担当課	福祉政策課
概要	○ほのぼの交流協力員、地域福祉推進員、子どもほのぼの交流員を設置し、地域住民とのふれあいや交流を行う。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○ほのぼの交流協力員 807 人、313 グループ（訪問対象世帯数 2,453 世帯） ○見守り活動推進サポーターの設置 ○見守り活動連絡会を6地区で計6回開催 ○延べ活動日数：7,512 日 ○見守り活動研修会の開催（329 人出席） 【成果】 ○一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、障害者のいる世帯などの、地域とのつながり作りや、孤立感の解消が図られた。 ○見守り活動における対応力の向上や、見守り活動に関わる実務者レベルでの情報交換、共有が図られた。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】約 2,500 世帯の見守りを維持し、見守り活動に必要な知識の取得や、情報交換の場を設けることができた。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	消費者アシスト隊員養成事業
担当課	くらし交通安全課
概要	○高齢者の消費者トラブル防止のため、消費者アシスト隊に登録した民生委員、町内会、地区社会福祉協議会等による高齢者の見守り活動の中で、必要に応じて消費生活センターへ誘導するなど、被害の未然防止や早期発見を図る。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○令和8年1月22日研修会開催 329 人参加 特殊詐欺を含めた様々な消費者トラブルや、高齢者を見守るポイントとして被害に遭った本人を否定しないことなどを学んだ。 ※ほのぼの交流協力員、高齢者サロンリーダー、消費者アシスト隊合同で開催 【成果】 ○消費者アシスト隊のスキルアップに繋がった。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】予定通り実施し、毎年新規隊員の増につながっている。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	あんしんカード事業
担当課	高齢福祉課
概要	○認知症等により自宅に戻ることができなくなる恐れがある人の情報を事前に市と警察署に登録する。 ○登録者が保護された際には、速やかに家族等に連絡を行う。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○登録者総数 397人 ・新規登録者数 82人 ・登録抹消者数 52人 ○ホームページ等を活用し、地域住民に対して事業を周知した。 ○介護民生委員民生委員会長会において、パンフレットを配付し事業を周知した。 【成果】 ○地域住民への事業周知により、認知症高齢者の見守り支援体制構築の促進が図られた。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】適切な登録手続きや事業の周知により、見守り体制を強化することができた。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止
	順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	市敬老祝金支給事業
担当課	高齢福祉課
概要	○長寿を祝し社会に貢献した功績をたたえ、その労をねぎらうことを目的として、100歳、88歳になる市民へ敬老祝金を支給する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○9月1日現在において、市内に引き続き1年以上居住し、年度内に88歳及び100歳に到達する者に対し、祝金を支給した。 ○令和7年度支給実績 ・88歳 1,449人 14,490,000円 ・100歳 64人 6,400,000円 【成果】 ○長寿を祝福し、高齢者福祉の増進が図られた。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】対象者の方すべてに意向を確認し、支給を行えているため。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止
	順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	地区敬老事業助成事業
担当課	高齢福祉課
概要	○各地区民生委員児童委員協議会等が主催する、地区敬老事業の開催経費の一部を補助する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 各地区民生委員児童委員協議会（25地区）等が実施する敬老事業に要する経費の一部を補助した。 ○対象高齢者数 34,503人 ※令和7年6月1日現在で77歳以上の者 （令和8年4月1日までに77歳に達する者を含む） ○補助金交付額 31,052,700円（34,503人×900円） ※各地区の対象者数に900円を乗じた金額を各主催者に補助 ○実施事業 敬老会事業、敬老祝品配付事業 【成果】 ○地域における敬老精神が継承され、高齢者福祉の増進が図られた。 ○敬老祝品配付を通じて地域の高齢者の見守り活動が実践された。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】敬老事業の実施により、高齢者と地域との関わりが生まれ、引きこもりや孤立を防ぎ、見守り活動が実践されている。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止
	順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	民生委員・児童委員活動の推進
担当課	福祉政策課
概要	○民生委員・児童委員の資質向上や啓発活動に取り組む民生委員児童委員協議会と連携し、情報交換や諸問題の解決に向けた協議等を行うとともに、同協議会への運営支援を行う。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○民生委員児童委員協議会との連携強化 ・定例会や情報交換会を開催した。(定例会毎月1回、情報交換会年1回) ・協議会主催の研修を共催した。(2月) ○民生委員・児童委員の育成支援 ・新任の民生委員・児童委員を対象に研修会を開催した。(1月) ・全民生委員へ、「民生委員・児童委員事務の手引き」を配付した。(481名) ・先輩委員が新人委員をサポートするため福祉協力員制度の拡充を検討した。(令和8年度予算要求) ○啓発活動の推進 ・民生委員・児童委員の役割や活動内容を地域住民に広く周知するため「広報はちのへ」に民生委員のインタビュー記事を掲載した。(4月号) ○協議会への活動・運営支援 ・協議会へ運営費補助金を交付した。(3,000,000円) ・協議会へ事業費補助金を交付した。(6,468,000円) 【成果】 ○民生委員児童委員協議会の連携強化により、民生委員・児童委員の見守り活動に係る理解が高まり、諸問題への解決に繋がった。また、補助金交付により運営の安定化と活動の推進が図られた。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調(改善の余地あり) □順調でない(改善が必要) 【理由】民生委員児童委員協議会との連携強化及び同会への活動・運営支援、民生委員・児童委員の育成支援、啓発活動を推進できたため。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

2 成年後見制度の利用促進

事業名	成年後見制度利用促進体制整備推進事業
担当課	高齢福祉課、障がい福祉課
概要	○地域連携ネットワークの中核機関や協議会等の設置・運営を行う。 ○成年後見制度の利用促進に関する調査審議機関の設置・運営を行う。 ○適切な後見人候補者を推薦するための受任調整会議の整備・運営を行う。 ○成年後見制度の利用促進に係る市町村計画を策定する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○八戸市社会福祉協議会に成年後見センターを設置(平成28年度から) ○八戸市市民後見推進協議会を開催(1回) ○受任調整会議を開催(3回) ○令和5年度に第2期市町村計画を策定 【成果】 ○成年後見制度の適切な利用を促進した。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調(改善の余地あり) □順調でない(改善が必要) 【理由】予定通り実施し、成年後見制度の利用促進に繋げることができた。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 今後も成年後見センターの設置や市民後見推進協議会での審議等を継続して実施し、成年後見制度の利用促進を図る。

事業名	八戸市成年後見センター事業 (地域連携ネットワークの中核機関及び協議会の設置・運営)
担当課	高齢福祉課、障がい福祉課
概要	○権利擁護に関する総合相談を行う。 ○成年後見ネットワーク会議を運営する。 ○市民後見人養成研修や市民後見人フォローアップ研修を開催するとともに、市民後見人の活動支援を行う。 ○成年後見セミナーを開催するなど成年後見制度等に関する啓発・研修を行う。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○権利擁護総合相談277件 ○成年後見ネットワーク会議を開催(2回) ○成年後見セミナーを開催(2回) ○成年後見制度説明会(4回) 【成果】 ○成年後見制度に関する相談ニーズに対応した。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調(改善の余地あり) □順調でない(改善が必要) 【理由】適切な相談対応やセミナー等の開催により住民のニーズに対応することができたため。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 引き続き住民からの権利擁護に関する相談を受け付け、セミナー等により成年後見制度や相談窓口の周知を図る。

事業名	市民後見推進事業（権利擁護人材育成事業）
担当課	高齢福祉課
概要	○市民後見人養成研修や市民後見人フォローアップ研修を開催するとともに、市民後見人の活動支援を行う。 ○市民後見人候補者への助言、後見人受任後の継続的な支援を行う。 ○市民後見人候補者名簿を整備する。 ○成年後見制度の利用支援等に関する必要事項の調査審議等を行うため、市民後見推進協議会を開催する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○市民後見人フォローアップ研修を開催（4回） 【成果】 ○担い手育成により制度の持続可能性の向上に貢献した。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】市民後見人の知識の習得に繋げ、問題なく活動することができた。
今後の方向性	☒ 継続 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止 市民後見人が適切に活動できるよう研修の開催や受任後の支援を継続し、市民後見人養成研修を開催することで新たな担い手を確保する。

事業名	成年後見制度の周知 （成年後見制度普及啓発事業／成年後見制度利用支援事業）
担当課	高齢福祉課、障がい福祉課
概要	○成年後見制度の利用を促進するための普及啓発を行う。 ○地域包括支援センター等において、成年後見制度や相談窓口の周知を行う。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○八戸市地区社会福祉協議会会長・事務局長等会議にてパンフレットを配布（80部） ○八戸市役所の高齢福祉課及び障がい福祉課にて成年後見制度及び成年後見センターのパンフレットを配布 【成果】 ○成年後見制度及び相談窓口の認知度が向上した。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】各相談窓口でパンフレットを配布し、制度について周知を図ることができた。
今後の方向性	☒ 継続 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止 パンフレットの配布による成年後見制度や相談窓口の周知を継続して実施する。

事業名	成年後見制度の市長申立ての実施
担当課	高齢福祉課、障がい福祉課
概要	○成年後見制度の利用が必要な状況であるにも関わらず、申立てを行う親族がなく、本人の福祉を図るため特に必要があるとき、市長による審判請求を行う。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○市長申立件数 ・高齢者 29件 ・障がい者 8件 【成果】 ○親族による成年後見制度の申立を期待できない者に対し、市長による申立の実施により、成年後見制度の利用につながった。 ○成年後見制度の利用が必要な高齢者や障がい者を制度の利用につなげることで、安心して生活できる環境を整えることができた。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】適切に手続きを実施し、成年後見制度の利用に繋ぐことができた。
今後の方向性	☒ 継続 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止 市長申立の実施が必要な場合は、適切に手続きを進め、成年後見制度の利用に繋げる。

事業名	成年後見制度利用支援事業
担当課	高齢福祉課、障がい福祉課
概要	○成年後見制度の申立てに要する経費や後見人等の報酬を助成する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○成年後見人等報酬助成 ・高齢者 18件 ・障がい者 3件 【成果】 ○後見人等の報酬を助成することで、成年後見制度の利用が必要な高齢者や障がい者が、制度を継続して利用することができることにつながり、安心して生活できる環境を整えることができた。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】適切に助成手続きを実施し、対象者が制度を継続して利用することができたため。
今後の方向性	☒ 継続 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止 助成の対象となる場合は、適切な手続きを進め、成年後見制度の継続的な利用に繋げる。

事業名	権利擁護支援事業
担当課	高齢福祉課
概要	○高齢者やその家庭に重層的な課題が存在している等の困難事例や虐待事例を把握した場合には対応を検討し、必要な支援を行う。 ○日常生活自立支援事業、成年後見制度等の制度の説明や活用等、ニーズに即した適切なサービスや関係機関につなぎ、適切な支援を提供することにより、高齢者の生活の維持を図る。 ○消費者被害を防止するため、必要な情報提供や消費生活センター等と連携する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○市が設置する12か所の高齢者支援センターにおいて、新規81件の虐待事例の相談を受け付け、そのすべてについて事実確認及び支援を実施 ○必要に応じて八戸圏域成年後見センターや消費生活センター等に情報提供を実施 【成果】 ○高齢者虐待や消費者被害などの防止に寄与した。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】滞りなく対応し、適切な相談対応、その後の支援につなげることができた。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	成年後見制度法人後見支援事業
担当課	障がい福祉課
概要	○後見等の業務を適正に行うことができる法人を確保できる体制を整備するため、法人後見実施団体等に対する研修の実施、その他の支援を行う。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○法人後見支援事業 実施団体：社会福祉法人八戸市社会福祉協議会、公益財団法人こころすこやか財団、一般社団法人はくさんだい後見事務所、一般社団法人ありま福祉サポート 利用実績：受任件数53件 【成果】 ○法人が有する各種福祉サービスに関する情報とノウハウを生かすことにより、多様な後見業務に対応できるようになった。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】法人後見の受任ケースが増えたほか、法人からの成年後見制度の市長申立相談や報酬助成依頼が増えた。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

3 虐待防止の推進

事業名	高齢者虐待対策事業
担当課	高齢福祉課
概要	○相談支援体制を整備するとともに、直接支援を実施する。 ○関係機関とのネットワークを構築する。 ○高齢者虐待防止に関する啓発活動を実施する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○新規虐待件数 81件 ※通報のたびに初動会議を開催 ○進行管理会議の開催 12回 【成果】 ○支援が必要な高齢者の早期発見を図るとともに、高齢者へ適切に支援が実施できた。 ○関係機関と連携することで、ネットワークの強化につながった。 ○高齢者虐待に関する普及啓発を図るとともに、その防止に向けた意識の向上につながった。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】通報を受けたケースについて、滞りなく対応できた。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	高齢者虐待防止研修会の開催
担当課	高齢福祉課
概要	○高齢者施設関係職員等を対象に、高齢者虐待に関して啓発を行うとともに、高齢者虐待の実態と防止・対応上の留意点を学ぶことを目的に研修会を開催する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○令和7年度八戸市虐待防止研修会 ・開催日時：令和8年2月6日（金） ・開催場所：八戸市総合保健センター1階大ホール ・テーマ：養護者による虐待について 【成果】 ○市内の介護保険関係事業所の職員98名が参加し、高齢者虐待防止への理解を深めた。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】研修会を開催し、高齢者虐待に関する啓発、理解促進につながった。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	初動会議の開催
担当課	高齢福祉課
概要	○養護者による高齢者虐待の通報を受理したあと、市地域包括支援センターと高齢者支援センター職員で対応方針を検討する。
令和7年度 実施結果	【取組内容】 ○新規虐待相談 81 件全件について、相談・通報受理後に開催した。 【成果】 ○相談内容を共有し、緊急度の判断、事実確認の対応方等について確認することで適切に支援できた。
自己点検 結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】滞りなく会議を開催し、虐待ケースの円滑な対応につながった。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	進行管理会議の開催
担当課	高齢福祉課
概要	○毎月、市地域包括支援センターと高齢者支援センター職員等で事例への対応状況の確認と支援方針の検討を行う。
令和7年度 実施結果	【取組内容】 ○年 12 回開催。 ○月 1 回以上の支援や安否確認を必要とする集中支援期の事例について、対応状況の確認や今後の支援方針の検討、支援期の判断を行った。 【成果】 ○虐待事例について、支援方針の確認と検討を行い、適切な事例の管理と支援ができた。
自己点検 結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】滞りなく会議を開催し、対応状況の適切な管理につながった。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	高齢者・障がい者虐待対策ケース会議の開催
担当課	高齢福祉課、障がい福祉課
概要	○高齢者や障がい者に対する虐待の防止及び早期発見と、原因を明らかにする。 ○高齢者及び家族等への総合的な支援策を検討し、各関係機関との連携システムを構築する。
令和7年度 実施結果	【取組内容】 ○実績なし。（会議開催なし） 【成果】 ○高齢者、障がい者やその家族に対する虐待の防止及び早期発見と総合的な支援策を各関係機関と連携し、対応した。
自己点検 結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】必要時に関係機関と連携し対応できる体制が構築されている。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 必要時に関係機関と連携し開催予定。

4 在宅生活支援の充実

事業名	緊急通報装置貸与事業
担当課	高齢福祉課
概要	○市民税非課税の1人暮らし高齢者に緊急通報装置を貸与する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○設置台数 170台（内訳：旧八戸市内 165台、旧南郷村内 5台） ○取付件数 17件（旧八戸市内） ○取外件数 36件（旧八戸市内 35台、旧南郷村内1台） 【成果】 ○単身高齢者の緊急時に備えた連絡手段が確保された。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】設置台数は前年度と比較すると減少したが、必要な方に対し緊急通報装置を貸与することができた。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	寝具洗濯乾燥消毒サービス事業
担当課	高齢福祉課
概要	○1人暮らしや高齢者世帯等で、心身の障がいや傷病などで寝具の衛生管理が困難な方に対し、必要なサービスを提供する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○八戸市内に住所を有し、次のいずれかの世帯又はこれに準ずる世帯に属するおおむね65歳以上の者のうち、心身の障害及び傷病等の理由によって寝具の衛生管理が困難な方に対し、洗濯乾燥消毒サービスを提供した。 ①単身世帯 ②高齢者のみの世帯 ③世帯内で家族の援護を受けることが困難な場合 サービス利用人数35人（利用は年度内に1回まで） 【成果】 ○高齢単身世帯や高齢者のみ世帯における生活衛生環境の向上につながった。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】サービスを申請した全ての方に対して、サービスを提供できたため。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	老人福祉電話設置事業
担当課	高齢福祉課
概要	○市民税が非課税の1人暮らし高齢者に対し、福祉電話を貸与する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○設置台数 48台（内訳：市民税非課税世帯 8台、生活保護世帯 40台） ○取付工事件数 12件、取外工事件数 6件 ○基本料金助成額 892,097円（生活保護世帯のみ助成） 【成果】 ○単身高齢者の連絡手段が確保され、不安解消につながった。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】利用者が増加し、より多くの単身高齢者の不安解消につながったため。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	介護用品支給事業
担当課	高齢福祉課
概要	○要介護4又は5の高齢者を在宅で介護している家族に介護用品（紙おむつ又は尿取りパッド）を支給する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○要介護4又は5の高齢者を在宅で介護している家族の方に紙おむつを支給。 ※主介護者・被介護者ともに市民税非課税世帯に限る。 令和7年度から27品目中15品目で支給数を減らし、実施した。 ○支給実人数 143人 ○支出済額 4,522,804円（※対象者への支給品目に要した金額） 【成果】 ○在宅介護における経済的負担の軽減が図られた。 ○在宅生活の継続及び向上につながった。
自己点検結果	□順調に進んでいる ■概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】地域支援事業における任意事業として、事業費の一部を国・県から交付を受け実施しているが、令和9年度以降は任意事業対象外となるため財源移行を検討し、事業を継続する。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 概ね順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

事業名	寝たきり高齢者等介護者慰労金支給事業
担当課	高齢福祉課
概要	○寝たきり又は認知症高齢者を在宅で介護している方に、慰労金を支給する。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○介護者慰労金 65歳以上の寝たきり又は認知症のある方を、引き続き1年以上在宅で介護している家族に対し、30,000円を支給した ・支給人数 218人 6,540,000円 ○家族介護慰労金 65歳以上の要介護4又は5の方を、介護サービスを受けずに引き続き1年以上在宅で介護している家族に対し、100,000円を支給した。 ・支給人数 1人 100,000円 【成果】 ○寝たきり又は認知症高齢者を在宅で介護している家族の、経済的負担の軽減が図られた。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】支給の対象となった方全員に対して、慰労金を支給できたため。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。

5 緊急時に備えた体制の整備

事業名	避難確保計画及び事業継続計画作成支援
担当課	介護保険課
概要	○避難確保計画及び事業継続計画の作成について、介護保険施設等に対して、周知徹底を図るとともに、必要な指導・助言を行う。
令和7年度実施結果	【取組内容】 ○市ホームページへの資料掲出（計画作成支援、ガイドライン、研修動画） ○運営指導において作成状況の確認とアドバイスをを行った。 【成果】 ○業務継続計画の内容や、従業者への周知、研修・訓練の状況等について運営指導で確認しながら指導、助言等を行なったことで、計画の実効性向上につながった。
自己点検結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】災害や感染症発生時における事業継続体制の整備が進んだ
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 今後も避難確保計画や事業継続計画についての必要な指導、助言を継続する

事業名	衛生用品の備蓄			
担当課	介護保険課、高齢福祉課			
概要	○衛生用品を備蓄し、高齢者施設・介護事業所等感染症感染拡大時に、必要に応じて提供する。			
令和7年度 実施結果	【取組内容】			
	○備蓄場所 YS アリーナ 倉庫内			
	○備蓄状況			
	品 目	放出数量	補充数量	年度末備蓄量
	不織布マスク	8,500 枚	-	296,000 枚
	PVC 手袋	0 双	-	28,300 双
	ガウン	0 枚	-	600 枚
キャップ	0 枚	-	300 枚	
フェイスシールド	0 枚	-	200 枚	
【成果】	○感染症感染拡大に備え、衛生用品の備蓄を継続した。			
	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要）			
自己点検 結 果	【理由】必要に応じて、介護事業所に対し備蓄品を放出しているため			
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止			
	感染症感染拡大に備え、備蓄を継続する			

事業名	避難行動要支援者事業
担当課	福祉政策課
概要	○避難行動要支援者名簿や、個別避難計画を作成する。 ○避難行動要支援者名簿の提供や個別避難計画の作成を通じて、要支援者を地域で支援していく体制を構築する。 ○GIS 連動型避難行動要支援者支援システムを運用する。
令和7年度 実施結果	【取組内容】 ○避難行動要支援者の登録促進（登録者数 2,276 人） ○避難行動要支援者名簿の更新、地域支援者への名簿提供 ・GIS 連動型避難行動要支援者支援システムの運用 ・民生委員や自主防災組織等への名簿提供（年2回） ○自主防災組織等との要支援者支援に関する協定締結（117 団体） ○市 HP や会議等での制度周知、協定締結の呼び掛け ○個別避難計画の作成（令和7年度対象：湊・白銀・鮫・市川・南浜） 【成果】 ○地域における要支援者支援体制の充実につながった。
自己点検 結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】提供した名簿の更新を行い、情報の正確性を高めることができたため。また、予定通り対象地区の個別避難計画の作成を進めることができたため。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 令和9年度までに全地区の個別避難計画の作成をする。（令和8年度5地区、令和9年度6地区作成予定）

事業名	救急医療情報キット配付事業
担当課	福祉政策課
概要	○避難行動要支援者等に対して、救急医療情報キットを配付する。
令和7年度 実施結果	【取組内容】 ○救急医療情報キットの配付（配付件数 60 件） 【成果】 ○要支援者等を地域で支え合う体制の強化や消防本部との連携の構築が図られた。
自己点検 結果	■順調に進んでいる □概ね順調（改善の余地あり） □順調でない（改善が必要） 【理由】避難行動要支援者名簿新規登録者全員に配付することができたため。
今後の方向性	■ 継続 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止 順調に進んでいるため、令和8年度以降も同様に実施予定。